



# SGH News Letter No.2

平成28年3月3日発行 愛媛県立松山東高等学校



## 目次

- ◆海外FW 報告会
- ◆海外FW 実施報告
- ◆2015年度海外交流等実績
- ◆おわりに

## 海外フィールドワーク報告会 の実施報告

日時：平成27年9月3日（木）14:00～16:00

会場：松山市立 子規記念博物館 4階講堂

内容：14:00～14:05 校長挨拶

14:10～14:35 台湾コース発表・質疑応答

14:35～15:00 インドネシアコース発表・質疑応答

15:10～15:30 韓国コース発表・質疑応答

15:30～15:40 ビジネス留学 JAPAN 日本代表プログラム参加者

(アメリカでの体験プログラムに参加) 発表・質疑応答

16:40～15:50 三浦教育財団海外研修旅行(カナダ)発表・質疑応答

15:50～16:00 指導講評



## 海外FW 実施報告

2学期以降に実施した海外FWの感想や様子をまとめました。

行先	日程	行程	生徒感想
ドイツ	11/11	松山空港→羽田空港→フランクフルト空港 →フライブルク市	<p>・自分の中の環境に対する何かが大きく変わった。それは、環境都市に対する羨望、エコに対する大きな関心、また、これをどうにか自分の住む町や世界に広げたいという願いでもある。本や、インターネットで他の人の感想を見ると、実際に自分が肌で感じるのではまったく違った。のびのびと遊ぶ子供たちの姿やトラフの騒音の小ささ、大自然に囲まれた新鮮な空気を体感し、前よりも意識が高まり、研鑽を積んでいきたいと思った。</p> <p>・日本の環境は十分優れていると考えていたが、フライブルグの街を歩いていると、ドイツ人の環境に対する意識の高さがいたるところで感じられた。私たちはまだまだ環境に配慮し、改善できる点があることを知った。日本は、大量生産大量消費の時代を一刻も早く抜け出し、限りある資源を守る政策を進めていかなければならない。</p>
	11/12	市役所・交通政策見学（中央駅）等	
	11/13	環境施策見学（森の家・ITZ-ツヨク）	
	11/14	市内見学（朝市・歴史博物館・環境施策特別地区 ポーバン区画）	
	11/15	フライブルク市→フランクフルト	
	11/16	空港 →羽田空港→松山空港	
ウガンダ	12/17	関西空港→ドーハ空港	<p>・JICA 事務所では、ウガンダで実際に国際協力を行っている方々とたくさんお話をすることができた。国際協力を始めた理由はそれぞれ異なっていたものの、皆さん自分の信念を持ってこの地に来ていた。アフリカということでも離れた、しかもウガンダという小さな国に日本人がたくさんいて、ウガンダの人々のために活動しているということは本当に驚いた。なぜわたしたちが国際協力をしなければならない理由は、「持続可能な世界を作るために必要な課題の解決と発展に向けて、あらゆる地域・国・組織・人が取り組むべき責務」であるということを知り、自分も将来国際協力の仕事をしてみたいという気持ちを持つことができた。</p> <p>・野球を通じて現地の人とコミュニケーションができ、スポーツの偉大さを再確認することができた。言語、文化、そして、基本的に停電しているといった困難な生活環境の中で、野球を普及させたいという強い思いから活動している隊員さんがいた。そのような人と出会うことができた今回の貴重な経験を通して、国際協力について今まで以上に深く考えることができた。将来はアフリカに行き、子供の笑顔を増やす事ができるような職業に就きたいと強く思った。</p> <p>・今回のFWで、たくさんの貴重な体験をすることができた。アフリカは安全面等で偏見をもたれてしまいがちだが、実際に行ってみると全く心配はなかった。ウガンダは問題点や改善すべき点は数多くあるが、日本や他の国からの支援を受けながら国の開発を進めていた。また、日本から遠く離れた地で、支援活動を行う日本人がたくさんいることに驚いたと同時に感動した。今回学んだこと、経験したこと、感じた魅力をできる限り多くの人に発信し、少しでも関心を持ってもらえるようにしたい。</p>
	12/18	→エンテベ空港→市内へ	
	12/19	円借款プロジェクトナイル架橋建設現場見学	
	12/20	現地チームとの野球交流	
	12/21	JICA、国立作物資源研究所見学	
	12/22	「あしながウガンダ」（エイズ遺児支援のNGO）見学・交流	
	12/23	マサカ地域中核病院見学	
	12/24	野生生物教育センター見学 各団体関係者との国際協力に関する意見交換会	
	12/25	ガヤザ野菜農園見学・クリスマス会	
	12/26 ～28	エンテベ空港→ドーハ空港 →関西空港→松山市内へ	

## ● 2015年度 海外での活動（留学・研修）実績

本年度は結果として多くの生徒が海外でのFWや留学を経験することができました。

内 容	訪問先	期 間	学年	人数
修学旅行	ロサンゼルス	2015/5/10～2015/5/15	2	99
日米和親条約締結 160 周年記念行事	ワシントン・ニューヨーク	2015/5/27～2015/6/2	2	1
高校生の留学促進事業（短期派遣）プログラム	ハワイ	2015/7/29～2015/8/12	1・2	10
えひめ高校生ハワイ派遣事業	ハワイ	2015/10/10～2015/10/15	1・2	4
トビタテ!留学 JAPAN	アメリカ ミルトン	2015/7/19～2015/8/8	2	1
	イタリア フィレンツェ	2015/7/27～2015/8/21	2	1
	フランス ニース	2015/7/21～2015/8/3	2	1
海外フィールドワーク	台湾	2015/8/2～2015/8/6	1	8
	ジャカルタ	2015/8/2～2015/8/6	1	7
	韓国 （日韓学術シンポジウム参加）	2015/8/17～2015/8/21	2	5
	ドイツ	2015/11/11～2015/11/16	2	5
	ウガンダ	2015/12/17～2015/12/28	2	8
海外留学	スイス	2015/8/14～2016/7/2	2	1
	ベルギー	2015/8/26～2015/11/30	2	1
	オランダ	2015/8/1～2016/7/31	3	1
	USA(ミシガン州)	2015/7/28～2016/6/21	3	1
	カナダ	2015/7/31～2015/8/11	1	1
	バンクーバー	2015/7/19～2015/8/2	3	1
	シンガポール	2015/8/1～2015/8/16	1	1
第 7 回中国清華大学短期留学	中国	2015/8/1～8/8	2	1

計 158 人

## ● 国内での活動実績

<留学生の受入> 2人（ノルウェー、スイス）

<大会への参加> 延べ 80人

<その他外国人との交流> 延べ 71人

- ドイツ・フライブルク市ブルガー部長
- 海外高校生による俳句体験
- ドイツ・フライブルク市とのインターネット会議
- 第 29 回愛媛国際交流サマースクール
- アフリカからの滞在者のホームビジット
- インド大使との交流会

- ユニバESD
- 愛媛大学国際科学・文化キャンプ
- 留学生日本語スピーチコンテスト
- 愛媛県高等学校国際教育生徒研究発表会
- 第 16 回日経 STOCK リーグ
- 日本地理学会秋季大会（愛媛大会）
- 日本国際教養学会 JAILA 第 5 回全国大会
- 「四国遍路」高校生スピーチコンテスト
- 第 9 回高等学校英語スピーチコンテスト

## ● 教職員による先進校としての研究発表

- 平成 27 年度愛媛県高等学校国際教育研究協議会 研究会
- 第 55 回愛媛県高等学校教育研究大会 国語部会

## ● おわりに

SGH事業も3月3日の研究成果発表会が終わるとほぼ2年が終了したことになります。今年度もたくさんの方々のお力添えにより、何とか乗り切れそうです。教育とは、生徒の心に種を播くことだとよく言われます。最近、教育においても「評価」や「成果」という結果の部分だけが求められる風潮が強まり、種を播いてから収穫までが短くなったり、収穫量が注目されるようになっていたりしています。SGH事業でも短期間での目に見える「成果」は必要です。しかし、本当の「成果」は20年先に現れるのではないかと考えています。今の生徒が30歳代後半になり、社会の中で中堅としてある程度の裁量を持つようになった時、家庭を持ち自分の子が小学生くらいになった時、その時こそが高校のころに播かれた種が花をつけ、実を結ぶ時期となり、自らの世代に何らかのイノベーションを起こし、さらに次の世代に何かを残すことができるのではないのでしょうか。20年先の「成果」が今から本当に楽しみであるとともに、そのような夢のある事業にしたいと思っています。

愛媛県立  
松山東高等学校

〒790-8521  
愛媛県松山市持田町2-2-12

学校 HP  
<http://matsuyamahigashi-h.esnet.ed.jp/cms/>

発行元：SGH 事業課